

# 廃校×アート


廃校の体育館で、  
コーヒードリンクに  
廃校のお話を。

## 「廃校を考えよう」 トークカフェ



とびう  
飛生アートコミュニティー

日時 **2012.9.9 日** 14:30~16:30

会場  北海道白老町・飛生アートコミュニティー (旧飛生小学校) 体育館  
(80席) 事前申込・先着順 \*定員に満たない場合には、当日の入場も可能です。

### 参加費・お申込み方法

500円 / 学生300円 (ドリンク付き)

◎「飛生芸術祭 2012」のホームページよりお申込み下さい。

<http://fes.tobiu.com/>

主催 飛生芸術祭実行委員会  
共催 TOBIU CAMP 実行委員会、北海道地域連動アートプロジェクト実行委員会  
助成 公益財団法人アサヒビール芸術文化財団、公益財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  
後援 白老町、白老町教育委員会、(財)アイヌ民族博物館、(社)白老観光協会、白老町商工会、(社)白老青年会議所、  
虎杖浜竹浦観光連合会、室蘭民報社、苫小牧民報社、北海道新聞苫小牧支社、読売新聞苫小牧支局



年間500校\*ものペースで生まれる廃校。その活用は地域に重くのしかかる課題です。  
全国各地で、廃校をアートによって活用する当事者たちが集い、  
現場にいるからこそ見える廃校の価値、運営の方法や難しさを、じっくり語ります。

\*文部科学省「公立学校の年度別廃校発生数」(平成22年)によると、平成21・22年度に全国で発生した廃校は年間500校を超える。また、都道府県別では北海道が706校(平成4年～22年の合計)と全国最多。

おはなし



Photo: Ryoichi Kawajiri

**国松 希根太 KUNIMATSU Kineta** 関わる廃校活用 飛生アートコミュニティ(北海道・旧飛生小学校)  
彫刻家/飛生アートコミュニティ代表

1977年、札幌市生まれ。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、2002年より北海道白老町にある廃校を活用した飛生アートコミュニティを拠点に制作活動を行なう。近年は、木を素材とした彫刻作品の他、平面作品やインスタレーション作品など、活動の幅を広げている。主に個展、グループ展などで作品を発表し、香港での個展"RAINY DAYS"、上海でのグループ展"雪国の華-N40°以北の日本の作家達-"、中国吉林省図們江彫刻公園(図們市)に作品設置など、国内外で発表活動を続けている。また、飛生アートコミュニティの活動として、「飛生芸術祭」などのイベントや展示会の企画にも多数関わる。



**田島 史朗 TAJIMA Shirou** 関わる廃校活用 隠岐アートトライアル(島根県・旧美田小学校)  
彫刻家/アートディレクター/デザイナー/隠岐アートトライアル実行委員会ディレクター

群馬県桐生市生まれ、横浜在住。他物との関わりから生まれる変化に着目し様々な表現行為を行っている。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、奄美大島に移り住む。その後アジアを周遊し、東京に戻る。2000年同大学助手、2004年イタリアでの研修(ポーラ美術振興財団)などを経て、2011年からは同大学非常勤講師を務める。2011年、島根県隠岐郡西ノ島町的美田小学校において、展示会「隠岐アートトライアル-美田小の実験-」を地元組織と企画運営。今年度は旧小学校内の図書館設置に向けて、人と本と小学校をつなぐ試みもしている。また40年前に廃校となった美田小学校分校を、本校に対してサテライト機能を持つ、より実験的な場として活用するアートプロジェクト「砂鉄の物語」を美術家岡田毅志とともにやっている。



**三澤 章 MISAWA Akira** 関わる廃校活用 きれいざわプロジェクト(青森県・旧王金魚沢小学校)  
NPO法人あおもりNPOサポートセンター常務理事・事務局長/NPO法人アートNPOリンク監事/  
NPO法人アートコアあおもり理事/一般社団法人青い森地域創造基金理事長

緊急雇用対策事業、雇用能力開発プログラム、行政職員へのNPO講座等の企画・運営を行うとともにNPO法人会計基準協議会や新しい公共支援事業ガイドライン策定会議等へ参加する。またトヨタアートマネジメントの開催、キッズアートワールドあおもりの実施、高齢者及び障害者のIT支援、ロービジョン者のIT支援、きれいざわアート ICHIBA、NPO法人会計基準策定に参画している。きれいざわアート ICHIBAでは、廃校を地域コミュニティの中心に復活させ地域コミュニティの再生を目指し、緊急雇用事業とも連動させ、カフェ・ショップの開設及び運営、きれいざわ倶楽部の森での活動を行なっている。

聞き手



**柴田 尚 SHIBATA Hisashi**  
特定非営利活動法人S-AIR代表

平成11年、札幌アーティスト・イン・レジデンスを立ち上げ、平成17年7月、特定非営利活動法人S-AIRとして法人化。初代代表となる。現在までに32カ国77名以上の滞在制作に関わる。同団体は平成20年度の国際交流基金地球市民賞を受賞。その他、「SNOWSCAPE MOERE」をはじめ様々な文化事業を企画する他、平成21年度より北海道教育大学において「廃校アートセンター調査」を始める。NPO法人アートNPOリンク理事、Res Artis 総会2012実行委員会委員、共著に「指定管理者制度で何がかわるのか」(水曜社)がある。

Opening Party

「飛生芸術祭2012」オープニングパーティー

9月9日(日) 17:00~19:00

1,500円/学生1,200円 \*ワンドリンク・軽食付き  
和太鼓 × フラメンコ × 三味線

懇親会を兼ねて、お気軽にご参加下さい!

イコロの森のオーベルジュ  
「森の食卓 トマトイヨ」の  
スペシャルディナー

地図

飛生アートコミュニティ  
北海道白老郡白老町字竹浦520

この看板のある信号を山側へ曲がり、「飛生」方面へ6キロ進む

会場までの公共交通機関はありません。お車でお越し下さい。

お問い合わせ  
飛生アートコミュニティ 担当: 宇佐見(usami@tobiu.com)